の里」で田舎暮らしを体験 傾斜地に点在する集落「天空

世界が認めるウォ

マダイの養殖えさやり体験

郷土料理づくり体験

効果を高めます。

プログラムでは、地元高校生ととも

ールドワークなどを取り組む

ロボットなどの革新技術

で刻み、厳かで美しい

営業時間

流れが山並みを深い渓谷 を開催。荒々しく雄大な 手法となります。

未来社

川は世界クラスのラフテ 日本三大暴れ川、

日本初の世界選手権

一般社団法人 そらの郷

平日8:30~17:15

アクティブラーニングの

マインド」を身につける

■吉野川ラフティング

力」と「サステイナブル 解の無い問いに挑戦する

誓い門出を祝います。村式では輪踊りで再開を

和島市、八幡浜市**、** る南予地域は、4市(宇

大洲

和島城や内子、

台骨を担っています。

デッの

た体験交流型教育旅行の

柑橘王国・愛媛

農林漁業の営みを生かし

して迎え入れます。

西予市)、5町(内

伊方町、松野町、

史文化遺産も多く、日本和の古い町並みなど、歴

体験」と銘打ったプログす。「ふるさと南予感動

「ふれあい交流体験」先家族と一緒に過ごす

「体験」は、

民泊

(家業体験)、南予なら

豊

受け入れを進めて

愛媛県南西部に位置す

量日本一を誇るマダイやリアス式海岸では、生産 シマアジ、真珠などが養 た「愛媛・南予の柑橘農日本農業遺産に認定され **殖されています。** 思まれ、農林漁業の営み 温暖な気候に恵まれた 海、山、川の自然に 愛南町)からな また、 や成川の渓谷など多様な 自然環境を有していま 国西予ジオパーク、滑床 一細長い佐田岬半島や四

業システム」は急傾斜地 な景観とともに日本一の 段々畑が特徴で、壮大 南予でSDGsを自分ごと化

農林漁業の営み体験

費は低迷して

ます。さらに

が低く観光消

南予地域では、豊かな ■民泊受け入れ 自然と多様な

生徒の皆さんをお客さま りのままの暮らしの中、 の受け入れが可能で、あ ートを実施します。 ■南予の課題解決型学

らの復旧、復興に向けた平成30年7月豪雨災害か

ごと化』を図り、

それに

く保存されています。

玉

のまんなかで自然体感

地域での民泊の受け入れ

を行っています。

民泊は現在、嶺北地域

切さ、自然と人との共生

へとの交流や食の大

えたいとの思いで、領北

情を持って生徒を家族

受け入れ家庭では、

愛

ように接します。

る吉野川は、そのメッカ 通じて豊富な水量を有す

フティング体験のニーズ

の大豊町

、本山町、

土佐

について学ぶことができ

SDG s O

取り組みが続いていま

ことを狙っています。

ついて深く考えてもらう キャリア形成の方向性に より生徒個々人が今後の

案へとまとめるという oject Based ルドスタディを通して提 すべき課題を見つけ出 事後学習では、さらにS ラム化を進めています。 題解決型学習)のプロジ 「南予版PBL」 Learning: 修学旅行時のフィ 身が優先して解決

流体験」でコミュニケー 民泊2泊の場合は、中日で1~2時間程度です。 ら南予各地域まではバスは高速船で80分、松山か ション能力の涵養を、 ます。広島から松山まで 後の各種選択体験で主体 午前中の「ふれあい交」

一般社団法人 八幡浜市ふるさと観光公社



秋になると黄金色に輝くみかんの段々畑





在 そこでわれわれは現

南予地域が抱えるさ **広島平和学習と南予民** ■モデルコース

泊が定番のコースとなり



その根幹は、南予の暮ら の体験」であることです。 ラム群の特徴は「ほんも

かな自然を存分に楽しむ ではの農林漁業体験、

自然体験など多様なプ

「民泊」にあります。域内 しをどっぷりと体験する

グラムを用意し、

季節や

〒796-8501 愛媛県八幡浜市北浜1-1-1 TEL 0894-22-0855 FAX 0894-22-5653 URL https://yawatahama-kankou.com/

※内容のお問い合わせは事務局・松浦までお願いします URL https://nishi-awa.jp/soranosato/

民家ステイ中の共同調理



ことが第一

食を考えるには生産現場に立つ

ホストファミリ で訪ねる史跡

-のガイド

の時間を取

人の受けず

能となりました。

ります。

さ

飛鳥・宇陀・下

ることもあ きが芽生え

らに、

事後

40軒のホスト

ファミリー

0

ファミリーの普段民家ステイは、 いがあると考えられま人材を育成するための狙 とは、まさにそのような の中に入り、 の普段の生活 ホスト

ーゲット目標=※教育旅イ」におけるSDGSタ する礎になると考えま は ツ)を知り、学ぶこと 「大和・飛鳥民家ステ 歴史(自分たちのル よりよい未来を創造 ト目標=※教育旅

に 4 ステイ当日を迎えてくだ Ş 事前に収集・整理してか 【質の高い教育をみんな 課題を見つけ、民家 $\underbrace{4}_{4}$ ての情報を

の住む地域 さい。自身 その家族と共に「ほんも は願っています。そして、 の」を体験し、 のつながりの大切さに気 てほしいと、 人一人の生徒が 人と人と 私たち

族に、また会いに来て 「新しくできた奈良の家 受け入れエリアが広域 い」。そう願いながら、 市エリ O pa 一般社団法人 大和飛鳥ニューツーリズム

ことで、

元に対する

と比較する

奈良県·大和飛鳥地域

ります。「大歩危・祖谷」ぎ町、東みよし町)にあ

可能な開発の

ための教育現場

や「吉野川」に代表され

や伝承、さらに独特の食

歴史文化、伝説

かみのある古き良き暮ら

びか今もなお息づいてい

エグロ、

石積みや家屋な

本一の田舎』の厳しさを の食事で心の交流。

て「世界農業遺産(GI 耕システム」であるとし

ション、 W S

事後学習。

豊かさに変える暮らしが

しが生んだ、山や畑やコ ます。自然と人々の暮ら

調理。そして家族団らん

人類を救う重要な持続可

前学習・テーマ策定、

民事

≝

能性を有する「傾斜地農

泊

フィールドワ

ました。厳しい

農業疲れ

波おどりが継承されてき

念仏踊、風流踊の阿

パネルディスカッ

「民泊阿波おどり」。離を吹き飛ばす芸能娯楽

に

し阿波・そらの郷

暮らしの中でプロジェク

集落のにぎわ

بح

トを展開しています。

グラムを開発し、

本物の

■民泊阿波おどり体験

田舎

実践体験型「PBL」 実践現場として、独自の

(課題解決型学習)プロ

を整えています

対策に関する万全の体制

大和・飛鳥民家ステイ

私たちに教えてくれま 歴史はさまざまなことを

る

学びを進化させる老

あるとともに、素朴で温 た全国屈指の観光地域で 文化、伝統芸能に彩られ 央に位置する「にし阿波

剣山・吉野!

|観光圏|

文化的景観を形成していれる集落に存在し独特の

を使って田舎料理を共同 穫した新鮮な野菜や山菜 農作業を恊働します。 サスティナブルな自給的 ジャガイモの収穫など、

業機関(FAO)

ō n

f o r

S u s

n a b l e

D e

opment)の

農の景勝地」の認定。 農林水産大臣から「食と

2

そらの郷は昨今、

国内

〒778-0003 徳島県三好市池田町シマ995-1

TEL 0883-76-0713 FAX 0883-72-0753

E-mail:sora@cn05.awaikeda.net

8年には国連食糧農

初ESD(Educat

に張り付くように形成さ の多くが山腹の急傾斜地 教育旅行民泊家庭は、 0人となる、 そらの郷の

三好市、

つる

強く輝いています。

そらの郷は、

が星空と一つとなって力 の夜空には、民家ボタル

そ

と言われ、20

総理大臣賞」を受賞しま

ン大賞、最上級の「内閣

は「地方創生の成功事例」 済活性化に成功する当地

と呼びました。そらの郷高い当地のことを「そら」

部に住む人々は、

標高の

前身から25年目を数

風景です。生徒たちは家郷とも称される日本の原

生徒たちは家

里物語」

により、地域経

育了回オーライ!ニッポ 育での実績が認められ、

た独特の風景こそが桃源

待っています。この体験

A H S

」の認定。

今年

厳しい傾斜地農業。

助け

長年の体験教

合いで収穫体験

型教育旅行「そらの郷山

え、

地域内約1

同時受けず

人れ人数約60

族の一

員として迎えら

茶摘みやタマネギ

その昔、徳島県の都市

舗「そらの郷山里物語」

の受け入れを行っていま地、奈良県で民家ステイー とりまく環境は急速に変 え自由に行き来ができる 化しています。国境を越 心、奈良県で民家ステイーの国が始まった 今を生きる生徒たちを るしく発達しています。 ーションツ ルも目まぐ

コミュニケ 共有する状況が生まれて つです)。 スの問題はそのうちの一 大きな危機を世界全体で ボーダレス化に伴い、 います(新型肺炎ウイル つの国では解決できない 体的・対話的で深い学び」 られています。 決していく力(Ac で堅実に活動しながら解 o b a l 導要領で定められた る力 (Thin Loca l y 新学習指 と、地域 が求め G であり、 んなどを通して、

ルな視野で問題に対峙す

として過ごすプログラム

行でSDGsを実践

食事作りや団ら

人間関

る=日本の未来の課題に

住み

=生きること

今

※【飢饉をゼロに

2.

つくる責任つ

①田舎の暮らしに触れ

つく学び」となります。

③食べること(食べた

体験だけではない

「身に

生きる力を育む~体験がミライを創る 養うことを大切にしてい 係を築きながら社会性を 学習に加え、 ます(さまざまな体験-域ならではの体験です。 在するここ大和・飛鳥地 自然体験学習や社会体験 交流するための手段) 触れる歴史学習ができる 実物に直に とから、 続けられるまちづくりを 触れ世界を知る※ 2.

づくりを考えます。 を知る―自分/地元を知 では既に顕著化されて トやデメリットを学ぶこ 問題(社会課題)が地方 ②日本の歴史ノルト 都会では埋もれている (事前・事後ワ ┗でより深い学びを※ 景観保全のメリ 持続可能な地域 の地で、 かう責任 (12: 民家ステイ中に調理し 8

会う大和・飛鳥民家ステ りすることもあります 事を作ってくれる人への 食への関心をもっと持っ 感謝の気持ちが芽生えた 日本の国が始まったこ 食わず嫌いが直っ けまですることで いと願います。 新しい家族に出 食

〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5番地 TEL 0744-54-1525 FAX 0744-54-1526 E-mail:info@yamatoasuka.or.jp URL https://yamatoasuka.or.jp/









離村式

一般財団法人 大豊町観光開発協会 担当:久保竜太

営業時間8:30~17:15

高知県·嶺北地域

の国宝の建造物「豊楽寺 輩出や、高知県では唯一 など、歴史的文化財が多 三大番所であった国重要 物「杉の大スギ」、土佐の 薬師堂」、樹齢3千年と言 われる国の特別天然記念) 別 | 旧立 川番所書院」

、体験が盛んです。

開催されており、年間を界ラフティング選手権も

ます。

近年、修学旅行でのラ

らではの暮らしの体験

るプログラムとなって

しをありのままに体験す

来訪者の一助となる

山里の暮らしを伝

世界ラフティ

ング選手権開催地

業で高冷地の気候と特色 りが行われています。 大原富江など文化人の 主産業は農林 まざまな自然体験やスポ 国三郎」として知られる 自然豊かな山や川ではさ が横断しており、

媛県、徳島県に隣接した この魅力も高い地域です。一つなど、食 本一コンテスト」で日本 になった「土佐天空の

国の真ん中に位置し、

愛 四

高知県嶺北地域は、

牛である「土佐赤牛」



野菜の収穫体験 れているなど、 ンストップ窓口となり行 の手配業務を当協会がワ 受け付けなど、関連施設 泊やラフティングの予約 んなで支え合う力が培わ 共生や人を思いやる 嶺北地域では、自然と 地域を守るためにみ

ており、こうした山里なの生活が今もなお営まれ 昔ながら 事作りや家庭の方々との 地域に伝わる山里の暮ら 家で家業を手伝う内 穫体験など、 軒あたり3~5人で食 酪農体験や野菜の収 1日でそれぞれの民 自然と共に暮らす 宿泊体験や半日ま 自然を受け 容

受け入れを行っており、人までの小・中・高校の

〒789-0392 高知県長岡郡大豊町津家1626 TEL 0887-79-0108 FAX 0887-79-0109 E-mail:info-main@otoyo-kankou.com URL http://www.otoyo-kankou.com/